

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あくしゅ		
○保護者評価実施期間	令和7年12月8日		令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月18日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	中庭があったり、室内空間が広いので身体を使った活動や、個別活動でも他利用児からの接触を受けにくい支援が可能である。	児童の健康管理、運動機能向上を図るために中庭での様々な活動や室内でマット運動やリズムダンスを行っている。	今後も事業所の広さを活かして、楽しく様々な活動ができるよう、職員で検討していく。
2	視覚支援の充実	児童が一目見て自分の当日のプログラムが把握できるようにボードを利用して構造化している。	今後もわかりやすい絵カードや、写真カードを使用して先の見通しが立ち、安定した事業所での時間が過ごす事ができるように支援していく。
3	室内が広く、活動しやすくなっている。	部屋が3部屋あるので年齢や障害特性で活動部屋のすみ分けをして利用児が支援を受けやすい環境となっている。	今後も利用児が支援を受けやすい環境を提供できるように努めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域学校や、地域住民との連携が弱い。	利用児が事業所を利用する時間帯は地域学校も授業中だったり、地域住民も外に出ている事がほとんどである。	少しでも地域と繋がるように、活動で事業所周辺のウォーキングを行い、地域の住民の方々へのあいさつをする等、関係作りに努めている。
2	避難訓練の内容	年に最低2回、避難訓練は行っているが重度の児童の特性を考えると簡易的な避難訓練しかできていない。	避難訓練は告知なく行うことに意味があるとは思いますが、重度の児童には前もって知らせておく等、徐々に避難訓練の内容を変えていく事を検討する。
3			